

## (6) 卒業生アンケートの集計結果

FD 委員会として、工学部の卒業生に関するアンケートを行った。この調査は、工学部を訪問された企業のリクレーター各位に対して図 1 に示す用紙を配布し、無記名で提出頂いたものである。用紙の配布は各学科就職担当教員を通じて行われた。回収方法としては、自然科学系事務部(工学系)教務係への FAX による提出、ないしは各学科就職担当教員あるいは FD 委員に直接の提出する形で行われた。

調査項目としては、回答者の特徴把握に関する設問、職場での過去 10 年間の本学卒業生の評価に関する設問、教育面での工学部への要望、の 3 つに分類される。卒業生の評価項目としては、(1)教養知識、(2)専門知識、(3)コミュニケーション能力、(4)社会性、(5)他大学卒業生との比較、(6)意見や気づいた点についての自由記述、の 6 項目からなる。(1)-(5)については 5 点満点で評価を頂いた。

調査結果は表 1 の通りである。H25 年度については 48 件の回答があり、うち 46 件が本学の卒業生からの回答であった。年齢層では、20 歳台 24 件、30 歳台 18 件、40 歳台 3 件、50 歳台 1 件、不明 2 件であり、20-30 歳台の回答者がほとんどであり、本調査結果は企業で本学学生の採用担当者が比較的若い世代であること、ないしは調査に協力していただける方々が若い世代であることがわかる。

ほとんどの回答者が工学部出身者であった。このため、本調査はいわゆる「身内」による回答になっているという意味で偏りがある可能性がある。回答者の分布に偏りがあることから、この種のアンケートにご協力頂けるのは工学部出身者に限られると思われるが、一方では本アンケートが本学出身者のみに回答を求めているように誤解されていること、そもそも来訪するリクレーターが工学部出身者に強く偏っていることが原因であるかもしれない。様々な方々からの回答を得ることが望まれるのであれば、今後アンケート用紙の依頼部分の文章表現の工夫、配布時の十分な説明が必要であろう。今回は回答者の分布に偏りがあることを前提に、調査結果を分析する。

回答者の勤務先は全員が民間企業の従業員であった。回答数 48 件に対して、過去 10 年以内の卒業生がいると回答したのは 37 件であり、11 件では該当する卒業生は雇用されていなかった。回答者の所属としてはニッセイコム株式会社様からの回答が 10 件と最大であり、次いで多いのは NS プラント設計株式会社様の 3 件、大同メタル株式会社様 2 件、新日鐵住金エンジニアリング株式会社様 2 件、であり、その他の企業は 1 件ずつご回答頂いた。

卒業生の資質については、教養知識についての評価は平均 3.7 点、専門知識については平均 3.9 点、コミュニケーション能力については平均 4.1 点、社会性については平均 4.0 点、他大学との比較については平均 3.8

**熊本大学工学部の卒業生に関するアンケート**

今後の教育に活かすため、OB やリクレーターの皆様には熊本大学工学部の卒業生に関するアンケートをお願いしております。ご提出は、直接学科教員へお渡しいただくか、FAX (工学部教務 096-342-8509) して頂きますようお願いいたします。  
問 1～3 には回答者ご自身についてご記入ください。

問 1 08 の方は卒業された学科名をご記入ください。 [ ]

問 2 卒業年度・ご年齢をお答えください。 \_\_\_\_\_ 年度 \_\_\_\_\_ 歳

問 3 現在、どちらで働かれていますか。退職された方は以前の職場をお答えください。  
・公務員    ・民間企業    ・その他 ( [ ] )  
付問 監支えなければ会社名・役所名をお教えてください \_\_\_\_\_

問 4 最近 10 年程度の間、熊本大学工学部の卒業生があなたの職場に就職してきましたか?  
・就職した卒業生がいない方は → 問 5 へ    ・就職した卒業生がいる方は → 付問 へ

付問 就職した熊本大学工学部の卒業生の印象について、当てはまる数字をご記入ください。  
5. 優れている    4. やや優れている    3. 普通    2. やや欠けている    1. 欠けている

① 教養知識	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
② 専門知識	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
③ コミュニケーション能力	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
④ 社会性	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
⑤ 他大学卒業生と比較して	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
⑥ その他、ご意見やお気づきの点がありましたらご記入ください	[ ]				

問 5 熊本大学工学部の教育についてご意見・ご要望がございましたらご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

図 1. 卒業生アンケートの調査用紙

点であった。全体として平均点が4点(得点率80%)近傍であるので、工学部卒業生への評価は比較的良好であると思われる。4点を基準として考えると、教養知識が若干欠如していること、他大学と比較して若干能力が劣るとの評価があるように思われるが、その程度は軽微であろう。コミュニケーション能力と社会性については、個人の資質に依存するケースが多いと思われるが、平均的には各企業において十分な能力を発揮しているものと思われる。自由記述欄の記述からはコミュニケーション能力が他大学学生よりも劣っているという評価と優れているとの評価の両方があるので、これは個人差が大きいものと思われる。語学力についても問題視する意見と良い評価をする意見の両方があった。批判的な意見としては、「真面目」、「おとなしい」、「自己表現が苦手」などの指摘もあった。

工学部への教育に対する意見としては、企業活動で役立つ実践的な教育が強く望まれる意見が多かった。例えば、「即戦力育成のための座学、実践的カリキュラムが必要」との意見や「社会性やコミュニケーション能力を育成する教育が必要」という向きの意見が多かった。

以上をまとめると、本調査は本学出身者による自己評価的な側面を有するものであり、その範囲内で工学部卒業生は十分な評価を得ているものと思われる。卒業生の資質は当学部の教育について特段の問題があるような指摘はなかったが、教育活動においては社会における実践的な能力を育成することを意識することが求められているように思われる。